

提 供 日 2025/04/25
タイトル 生まれたばかりの赤ちゃんの病気を調べる「新生児マススクリーニング検査」に2疾患の検査を追加します
担 当 健康福祉部 こども若者局こども未来課
連 絡 先 母子保健班
TEL 054-221-3309



1 概要

生まれたばかりの赤ちゃんが、先天性代謝異常症などの21種類の病気にかかっていないか採血で調べる「新生児マススクリーニング検査」について、新たに2疾患（脊髄性筋萎縮症（SMA）、重症複合免疫不全症（SCID））の検査を追加します。検査は従来の検査で使った検体を使用するため、赤ちゃんへの負担はなく、追加の検査費用も不要です。

2 検査について

（1）対象者

令和7年5月1日以降に県内医療機関で出生した新生児

（2）対象者の負担

従来の21疾患の検査に用いている「ろ紙血」を活用するため、再度採血する必要はなく検査費用は無料です。

（3）検査の申込方法

従来の21疾患の検査を実施している医療機関を通じて申込みができます。
同意書の提出が必要なため、詳しくは出産した医療機関等にお尋ねください。

（4）留意事項

この検査は、こども家庭庁が実施する「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」であるため、保護者の同意を得た上で、こども家庭庁へデータ（検査数や陽性者数などの個人が特定されないデータのみ）を提供します。

3 問合せ先（出産した医療機関等の所在地ごとに担当が変わります）

○静岡県健康福祉部こども若者局こども未来課（静岡市・浜松市を除く県内市町）
電話番号：054-221-3309

○静岡市こども未来局こども家庭福祉課
電話番号：054-254-2111

○浜松市健康福祉部健康増進課
電話番号：053-453-6117

4 参考（2疾患の検査を追加する経緯）

こども家庭庁では、早期発見、早期治療により重篤な症状を防ぐことが期待できるSMA、SCIDの検査の全国展開に向け「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」を行っており、静岡県もこの実証事業に参画しました。

■脊髄性筋萎縮症（SMA）

全身の筋力低下が進行し、治療しないと乳児期に亡くなることもある病気です。重症型の多くは乳児期に発症します。出生2万人あたり1人の割合でSMAをもつ赤ちゃんが生まれるとされています。<https://www.sma-rt.org/sma.html>

■重症複合免疫不全症（SCID）

乳幼児期から感染症を繰り返し、治療しないと乳児期に亡くなることもある病気で、生まれつきの免疫不全症の中で最も重症な病気です。出生5万人あたり1人の割合でSCIDをもつ赤ちゃんが生まれるとされています。<https://pid-nbs.jp/scid.html>

5 静岡県HP

<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/kodomokosodate/boshihoken/1071940.html>